

京都芸術大学通信教育部  
空間演出デザインコース  
入学ガイダンス

2

卒業へ向かって



# 学習のスタート

- 教務ガイダンス資料を理解する！
  - コースガイドを熟読する！
  - airUマイページを触り慣れる！
  - **卒業要件、卒業制作着手要件を理解する!!!**
  - **通信教育部の履修形態を理解する!!!**
- 
- **卒業までの学習計画を立てる!!!**
  - **まずは10単位修得を目指す!!! (ドリルから!)**
  - 困ったら学習ガイド、airU学習ガイドを活用！
  - オープンゼミやコンシェルジュも有効活用！

# 卒業要件の確認

卒業に必要な専門科目は60単位で共通

## 卒業要件

入学区分 (卒業要件) (注1)	科目群	修得すべき単位数	備考 (左記のうち、修得すべき科目など)
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	(注3)
	コース専門演習 T 科目	24単位以上	計60単位の科目が必修 「空間演出デザイン I・II・III・IV」「卒業制作」必修、 「空間演出デザイン V-1~10」から6科目選択必修
	コース専門演習 S 科目	24単位以上	
	その他	(注2)	
	合計	124単位以上	S 科目30単位以上
3年次編入学 (62単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	(注3)
	コース専門演習 T 科目	24単位以上	計60単位の科目が必修 「空間演出デザイン I・II・III・IV」「卒業制作」必修、 「空間演出デザイン V-1~10」から6科目選択必修
	コース専門演習 S 科目	24単位以上	
	その他	(注2)	
	合計	62単位以上	

# 7. 履修条件図

卒業に必要なコース専門科目(合計60単位・必修)  
 ……ぜひ受けて欲しいコース専門科目(1単位・選択)

……二級建築士受験資格取得に必要な科目(合計10単位・選択)

1 年次

2 年次

3 年次

4 年次

デザインの基礎力を習得し、デザインの楽しさ・魅力を発見する

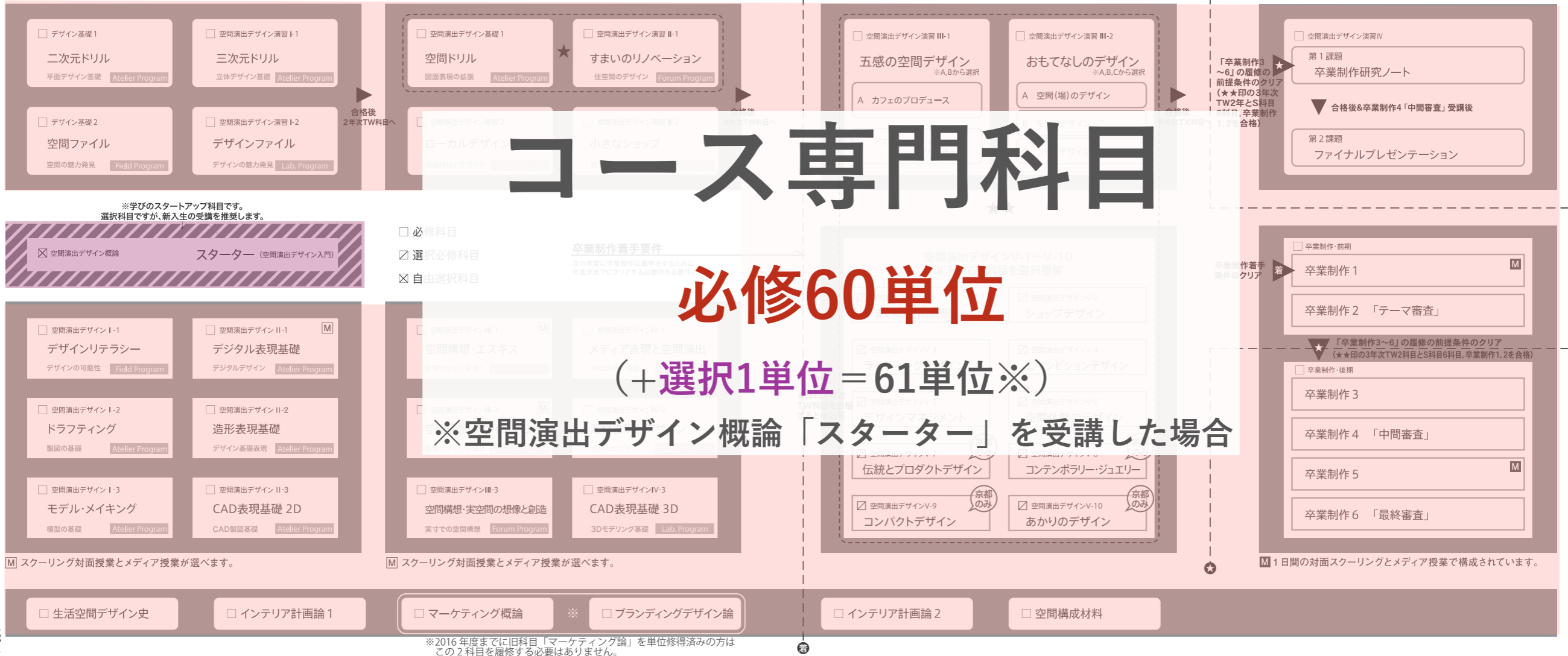
空間をデザインする手法と考え方を学ぶ

空間と様々な領域の関係性を探り、デザインの活用法を学ぶ

それぞれのおもてなしのデザインを提案し、他者へ伝える

3年次編入学生1年目

3年次編入学生2年目



## 二級建築受験資格取得を目指す人のみ、資格指定科目を追加で履修(卒制着手年度の秋期まで)

■デザイン基礎課程の1・2年次科目では4つのプログラムに組み込み、デザイン基礎力を獲得し定着させます。自身のオリジナリティを発掘し、クオリティに磨きをかけます。

- Atelier Program 表現力** | 表現技術、記録術、デジタル術
- Field Program 観察力・洞察力** | 発見力、観察力、調査・取材力、状況把握・分析力
- Forum Program 論理性** | 構想力、編集力
- Lab. Program 挑戦力** | 好奇心、幅広い知識・教養

■専門デザイン課程の3年次では選択制で様々なデザイン領域に触れながら、以下の6つの実践を通じてアクティビティを獲得します。



■4年次卒業制作では以下のような内容から各自でテーマを設定し成果を発信します。

- 空間(場)づくり**  
インテリアデザイン、建築デザイン  
展示デザイン、ディスプレイデザイン
- モノづくり**  
雑貨、グッズデザイン、家具デザイン  
インテリアプロダクトデザイン、照明デザイン
- コトづくり**  
ブランディングデザイン、コミュニティデザイン  
ソーシャルデザイン、プロジェクトデザイン

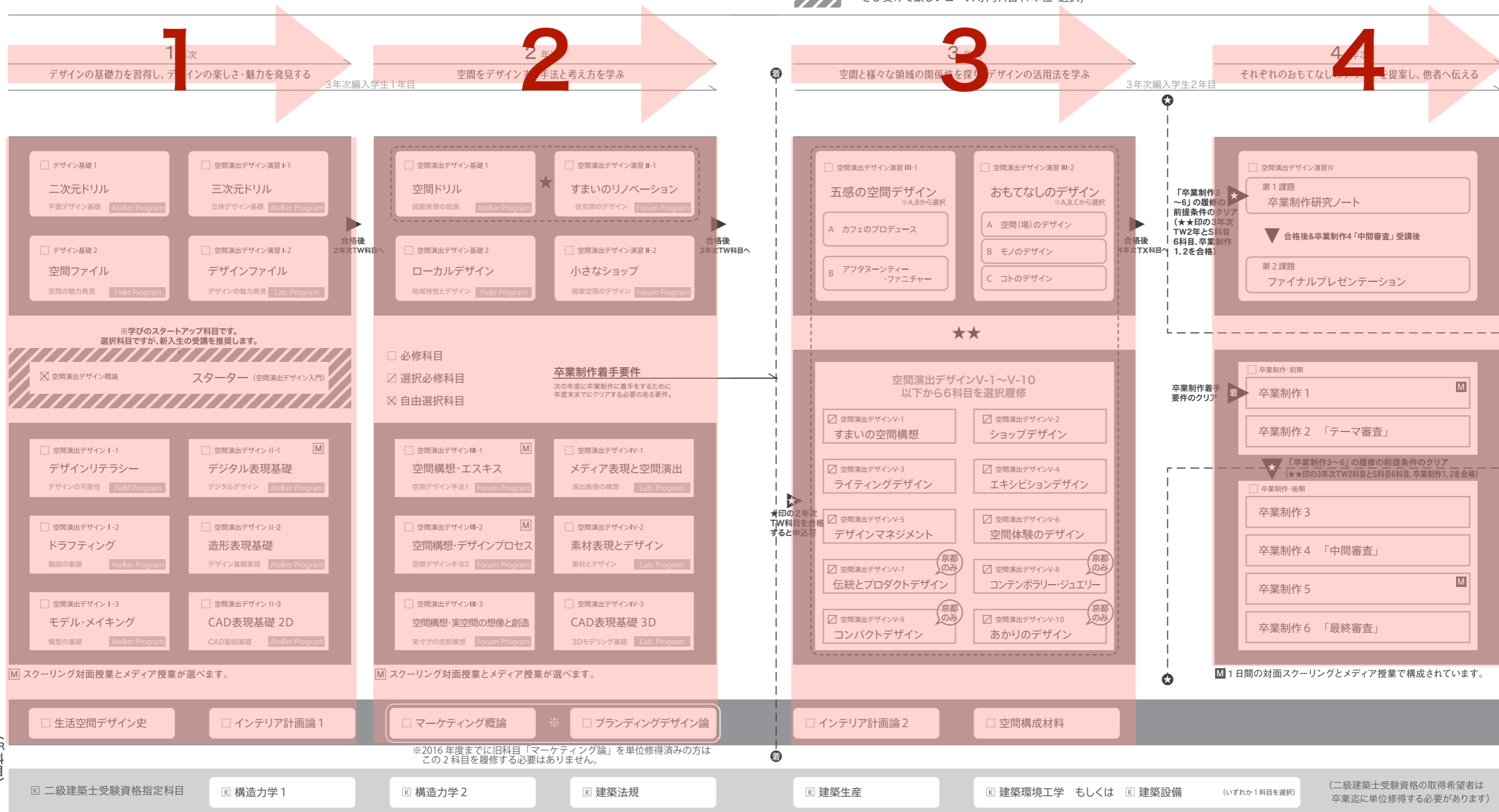
『コースガイド』 pp.10-11参照



# 7. 履修条件図

…卒業に必要なコース専門科目(合計60単位・必修)  
 …ぜひ受けて欲しいコース専門科目(1単位・選択)

…二級建築士受験資格取得に必要な科目(合計10単位・選択)



## 1年次入学生：4年間履修のイメージ







# 卒業要件の確認

【1年次入学生】 **合計 124単位 以上**

コース専門必修科目単位数の合計は60単位。

**残り 64単位 以上**を

総合教育科目や学部共通専門科目で修得する必要あり。

注意：124単位以上のうちS科目は30単位以上修得する必要あり。

(WS科目でも受講可能)

【3年次編入学生】 **合計 62単位 以上**

※ 二級建築士受験・登録資格を  
取得する場合は66～70単位以上

コース専門必修科目単位数の合計は60単位。

**残り 2単位 以上**を

総合教育科目や学部共通専門科目で修得する必要あり。

ちなみに：スターターを履修したらあと1単位！



# 卒業制作着手要件の確認

卒業制作着手に必要な専門科目は36単位で共通

## 卒業制作着手要件

入学区分 (卒業要件) (注1)	科目群	修得すべき 単位数	備考 (左記のうち、修得すべき科目など)
1年次入学 (124単位以上)	学部共通専門教育科目	8単位以上	(注3)
	コース専門演習 T 科目	16単位以上	「ゴッホの基礎1・2 (空間演出デザイン)」 「空間演出デザイン1・2」 「空間演出デザイン演習 I・II」 必修
	コース専門演習 S 科目	12単位以上	「空間演出デザイン I・II・III・IV」 必修
	その他	(注2)	
	合計	90単位以上	3年以上在学していること (休学期間を除く)
3年次編入学 (62単位以上)	学部共通専門教育科目	8単位以上	(注3)
	コース専門演習 T 科目	16単位以上	「ゴッホの基礎1・2 (空間演出デザイン)」 「空間演出デザイン1・2」 「空間演出デザイン演習 I・II」 必修
	コース専門演習 S 科目	12単位以上	「空間演出デザイン I・II・III・IV」 必修
	その他	(注2)	
	合計	36単位以上	1年以上在学していること (休学期間を除く)

1年次入学の方は、卒業制作着手に必要な総単位数に注意

# 7. 履修条件図

…卒業に必要なコース専門科目(合計60単位・必修)

…二級建築士受験資格取得に必要な科目(合計10単位・選択)

…ぜひ受けて欲しいコース専門科目(1単位・選択)

**着**

1 年次

2 年次

3 年次

4 年次

デザインの基礎力を習得し、デザインの楽しさ・魅力を発見する

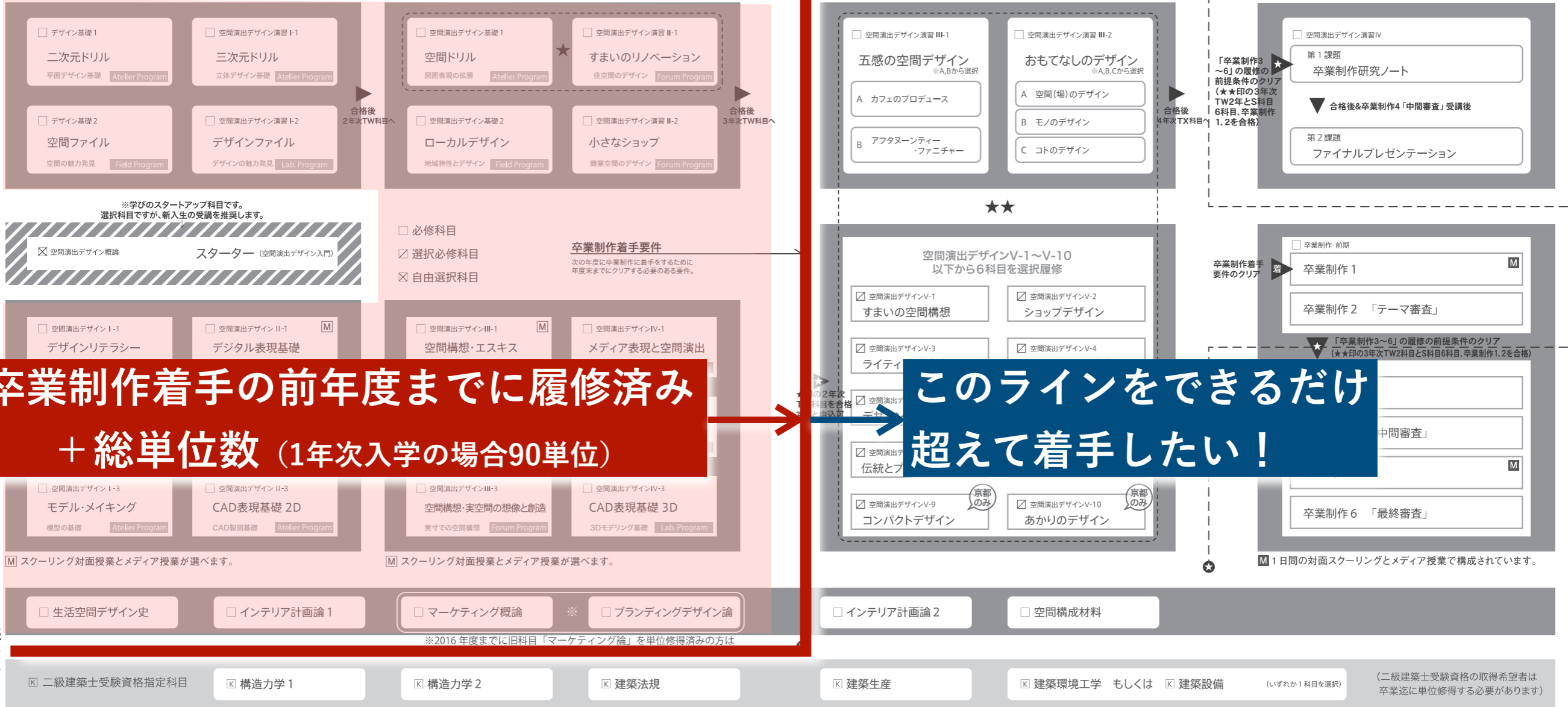
空間をデザインする手法と考え方を学ぶ

空間と様々な領域の関係性を探り、デザインの活用法を学ぶ

それぞれのおもてなしのデザインを提案し、他者へ伝える

3年次編入学生1年目

3年次編入学生2年目



## 卒業制作着手要件

実際はこのラインぎりぎりでは着手すると最終年度が大変です!

『コースガイド』 pp.10-11参照



# 通信教育部の履修形態

## 1. 履修形態

通信教育課程における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。  
本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験／作品課題がある科目	対面／遠隔授業
	S	スクーリング科目	対面／遠隔授業のある科目	
	GS	芸術学舎科目	本学が開講する公開講座芸術学舎を受講する科目	

コース専門科目は、TR・TW・TX・Sの4種類

1年次入学の方はWSやGSでも単位を稼ごう！

『学習ガイド』 p11-13参照

『コースガイド』 p4参照

# 7. 履修条件図

卒業に必要なコース専門科目(合計60単位・必修)  
 ぜひ受けて欲しいコース専門科目(1単位・選択)

二級建築士受験資格取得に必要な科目(合計10単位・選択)

1 年次

2 年次

3 年次

4 年次

デザインの基礎力を習得し、デザインの楽しさ・魅力を発見する

空間をデザインする手法と考え方を学ぶ

空間と様々な領域の関係性を探り、デザインの活用方法を学ぶ

それぞれのおもてなしのデザインを提案し、他者へ伝える

3年次編入学生1年目

3年次編入学生2年目

**TW・TX科目** → **自宅で作品制作**  
 (TXは4年次卒業制作のみ)

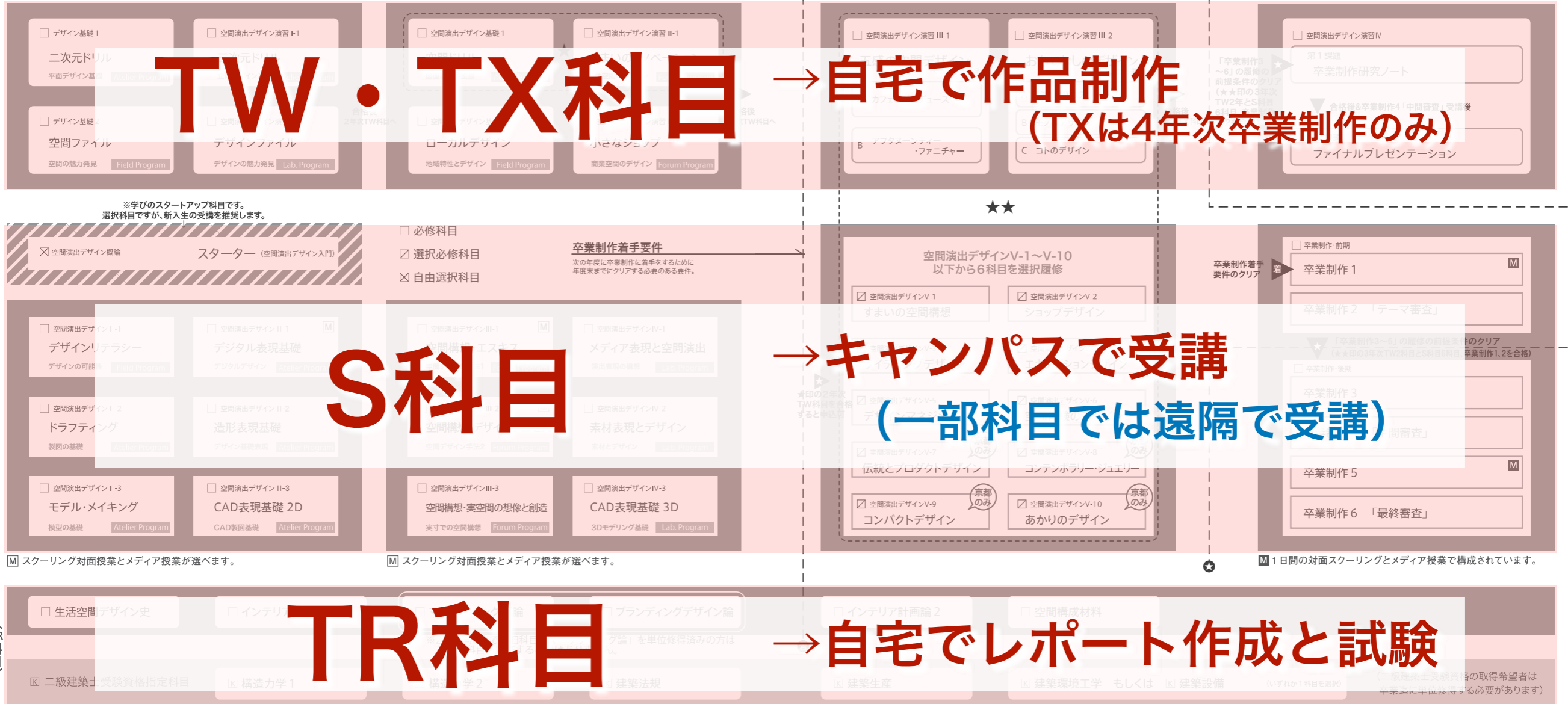
**S科目** → **キャンパスで受講**  
 (一部科目では遠隔で受講)

**TR科目** → **自宅でレポート作成と試験**

テキスト作品科目(TW・TX科目)

スクーリング科目(S科目)

テキストレポート科目(TR科目)



※学びのスタートアップ科目です。選択科目ですが、新入生の受講を推奨します。

必修科目  
 選択必修科目  
 自由選択科目

卒業制作着手要件  
 次の年度に卒業制作に着手するために年度末までにクリアする必要がある要件。

[M] スクーリング対面授業とメディア授業が選べます。

[M] スクーリング対面授業とメディア授業が選べます。

[M] 1日間の対面スクーリングとメディア授業で構成されています。

■デザイン基礎課程の1・2年次科目では4つのプログラムに取り組み、デザイン基礎力を獲得し定着させます。自身のオリジナリティを発掘し、クオリティに磨きをかけます。

- Atelier Program 表現力** | 表現技術、記録術、デジタル術
- Field Program 観察力・洞察力** | 発見力、観察力、調査・取材力、状況把握・分析力
- Forum Program 論理性** | 構想力、編集力
- Lab. Program 挑戦力** | 好奇心、幅広い知識・教養

■専門デザイン課程の3年次では選択制で様々なデザイン領域に触れながら、以下の6つの実践を通じてアクティビティを獲得します。

企画提案	計画管理	協働
発信	行動	改革

■4年次卒業制作では以下のような内容から各自でテーマを設定し成果を発信します。

- 空間(場)づくり**  
 インテリアデザイン、建築デザイン  
 展示デザイン、ディスプレイデザイン
- モノづくり**  
 雑貨、グッズデザイン、家具デザイン  
 インテリアプロダクトデザイン、照明デザイン
- コトづくり**  
 ブランディングデザイン、コミュニティデザイン  
 ソーシャルデザイン、プロジェクトデザイン



## 遠隔授業が選べる科目 (1,2年次S科目は全て)

スクーリング科目(S科目)

<input type="checkbox"/> 空間演出デザイン I-1 <b>デザインリテラシー</b> <small>デザインの可能性</small> Field Program	<input type="checkbox"/> 空間演出デザイン II-1 <b>デジタル表現基礎</b> <small>デジタルデザイン</small> Atelier Program
<input type="checkbox"/> 空間演出デザイン I-2 <b>ドラフティング</b> <small>製図の基礎</small> Atelier Program	<input type="checkbox"/> 空間演出デザイン II-2 <b>造形表現基礎</b> <small>デザイン基礎表現</small> Atelier Program
<input type="checkbox"/> 空間演出デザイン I-3 <b>モデル・メイキング</b> <small>模型の基礎</small> Atelier Program	<input type="checkbox"/> 空間演出デザイン II-3 <b>CAD表現基礎 2D</b> <small>CAD製図基礎</small> Atelier Program

[E] スクーリング対面授業と遠隔授業が選べます。

## 遠隔授業が選べる科目 (3年次S科目)

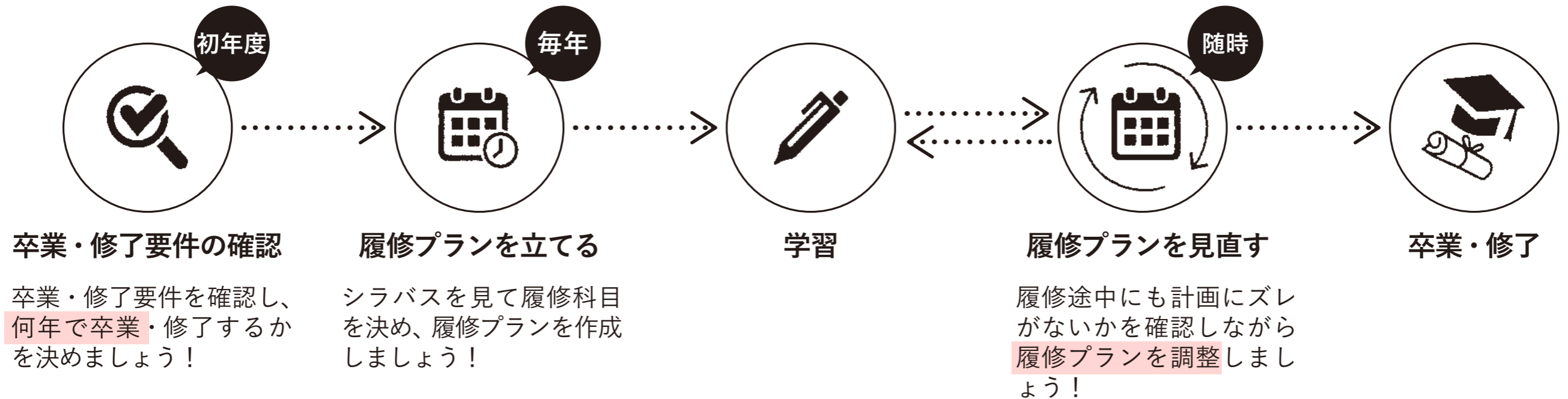
空間演出デザインV-1~V-10  
以下から6科目を選択履修

<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-1 <b>すまいの空間構想</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-2 <b>ショップデザイン</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-3 <b>ライティングデザイン</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-4 <b>エキシビションデザイン</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-5 <b>デザインマネジメント</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-6 <b>空間体験のデザイン</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-7 <b>伝統とプロダクトデザイン</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-8 <b>コンテンポラリー・ジュエリー</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-9 <b>コンパクトデザイン</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 空間演出デザインV-10 <b>あかりのデザイン</b>

★印の2年次TW科目を合格すると申込可

# 学習計画を立てよう

(履修プラン)



まずは卒業に向けて今年度何単位修得を目指すのか  
を定め、必ず1年間の学習計画を立てましょう！

※すべてのガイダンス動画を確認してから

空間演出デザインI-1の事前課題「学習計画表」に取り組もう！

『学習ガイド』 p14参照

『コースガイド』 p7参照



綿密な学習計画が卒業を達成するためには不可欠です。  
卒業を目指して、一緒にがんばってきましょう！